

平成20年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率

○健全化判断比率

平成20年度決算に基づく健全化判断比率の算定結果は、次の表のとおりとなりました。

実質赤字比率と連結実質赤字比率については、昨年度に引き続き、赤字はなく、借金残高の減少などにより、実質公債費比率については0.2ポイント、将来負担比率については7.4ポイント昨年度に比べ改善いたしました。いずれの指標についても、早期健全化基準や財政再生基準を下回っています。

指 標	H20決算比率	早期健全化基準	財政再生基準	備 考
実質赤字比率	—	(12.67%)	(20.00%)	赤字がないときは「—」で表示
連結実質赤字比率	—	(17.67%)	(40.00%)	
実質公債費比率	8.5%	(25.0%)	(35.0%)	8.7% (H19決算比率)
将来負担比率	72.5%	(350.0%)		79.9% (H19決算比率)

○資金不足比率

平成20年度決算に基づく各公営企業ごとの資金不足比率の算定結果は、次の表のとおりとなりました。昨年度に引き続き、資金不足（赤字）を生じた公営企業は、ありませんでした。

公営企業会計	H20決算比率	経営健全化基準	備 考
水道事業会計	—	(20.00%)	資金不足がないときは「—」で表示
下水道事業特別会計	—		
長野土地区画整理特別会計	—		
簡易水道事業特別会計	—		